

第 39 回理事会議事録

(令和 7 年 (2025 年) 3 月 17 日)

公益財団法人 都 民 劇 場

公益財団法人都民劇場第39回理事会議事録

1. 開催された日時 令和7年(2025年)3月17日(月)正午から12時50分まで

2. 開催された場所 東京都中央区銀座5-1-7数寄屋橋ビル 8階会議室

3. 理事総数及び定足数 総数 7名 定足数 4名

4. 出席理事数 5名
(50音順)

出席者

植木 浩、宇津木修、糟谷治男、千田純二、水落 潔

欠席者

古屋留美、矢野誠一

監事出席

鎌田高明、島田耕一

事務局

久保検祐、松本京子、木下元子

5. 議題

決議事項

第1号議題 令和7年度(2025年度)事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについての承認

第2号議題 令和7年度役員報酬の承認

第3号議題 育児・介護休業規程の変更について

第4号議題 会員規程の変更について

報告事項

代表理事の職務執行の状況の報告

6. 議事の経過及び結果

(1) 議長の選出

最初に千田純二専務理事から定款第37条（決議）において、理事会の決議に必要な理事の過半数が出席した事により、本理事会の定足数を満たしているとの報告があり、続いて定款第36条第3項による理事会議長：糟谷治男理事長が第39回理事会の開会を宣した。そののち、定款第40条第2項（理事会の議事録）の定めから本理事会の議事録署名人は出席した理事長、専務理事及び監事となるため、糟谷理事長、千田専務理事、及び鎌田高明、島田耕一の両監事を議事録署名人に選出し、議事に入った。

(2) 第1号議題 令和7年度(2025年度)事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについての承認

糟谷議長が本議題について付議し、これを受けて千田専務理事から令和7年度事業計画書について概要説明があった。以上ののち全理事異議なく令和7年度事業計画書について可決した。

続いて久保検祐総務部長から令和7年度収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて概要説明があった。以上ののち全理事異議なく収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込みについて可決した。

(3) 第2号議題 令和7年度役員報酬の承認

糟谷議長が本議題について付議し、これを受けて久保総務部長から令和7年度役員報酬について役員等の報酬及び費用に関する規程に従い報酬額を算定している旨、及び、役員退職慰労金引当額を常勤・非常勤退職慰労金等支給規程に従い適正額を引き当てる予定である旨との説明があった。以上ののち全理事異議なく第2号議題を可決した。

(4) 第3号議題 育児・介護休業規程の変更について

糟谷議長が本議題について付議し、これを受けて久保総務部長から2025年4月1日、及び2025年10月1日に改正される育児・介護休業法に対応するため、本法人の育児・介護休業規程を改定したい旨の説明があった。続いて、審議に入り、全理事異議なく第3号議題を可決した。

(5) 第4号議題 会員規程の変更について

糟谷議長が本議題について付議し、これを受けて久保総務部長から、会員規程の第3条（鑑賞会費）第3項で管理費の割合を定めているが、公益会計基準、及び経理規程の内容に即していない内容であるため、当該項の修正削除を行いたい旨の説明があった。続いて、審議に入り、全理事異議なく第4号議題を可決した。

(6) 報告事項

代表理事の職務執行の状況報告

令和6年度上半期（4月1日～9月30日）について、糟谷理事長から職務の執行の状況について概要説明があった。続いて、千田専務理事から詳細について以下のように報告があった。

1. 文化芸術振興事業

・定期鑑賞会事業の開催について

演劇サークル5回、歌舞伎サークル3回、新劇サークル5回開催した。

・都民半額観劇会の開催について

春（4月）と夏（7月）の2回開催した。

第181回 提供枚数 約8,638枚
第182回 提供枚数 約5,927枚

以上ののち、糟谷議長は12時20分に理事会の閉会を宣した。

懇談になり、水落潔理事より歌舞伎座の尾上菊五郎襲名披露興行の申込状況についての質問があり、これを受けて千田専務理事から歌舞伎サークルの第1回公演で、四月大歌舞伎（通常公演）との選択制で、およそ半数程度の申込状況との説明があった。

その他、演劇業界の概況について意見交換を行い12時50分に散会した。

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は次のとおり記名押印する。

令和7年3月17日

理 事 長

糟 谷 治 男



専 務 理 事

千 田 純 二



監 事

鎌 田 高 明



監 事

島 田 耕 一

